



2009年4月発行(14)
板橋区保育園父母の会
連絡協議会(板橋父母連)
 会長: 佐藤美砂
 住所: 173-0032
 板橋区大谷口上町90-7
 URL <http://itakids.jp/huboren/>
 メール itabashi_fuboren@yahoo.co.jp

さいわい保育園の性急な民営化に不安

昨年末、板橋区は都営板橋幸町団地建替えに伴い、同団地に併設されている区立さいわい保育園について、『平成24年度に私立保育園に移行する』との方針を発表しました。

突然の発表にとまどう保護者の方から父母連宛に手記が寄せられました。ご本人のご了解をいただき、ご紹介します

私の家族は、いくつもの保育園を見学して、雰囲気が入ったさいわい保育園に入園を希望し、なんと

か抽選に当選し、入園できてホッとしました。

子どもたちもこの保育園が気に入ったようで、運動会やお楽しみ会の年長組のお兄さんやお姉さんたちの踊りや振る舞いなどに憧れを持って、家でも真似するようになりました。

また、保育園の先生が書いてくれた絵を大事に持って帰るなど、楽しい保育園生活を過ごしているようです。

ところが、昨年12月17日に、保育サービス課よりさいわい保育園が廃園すると伝えられました。

さいわい保育園が廃園すると、今まで

の伝統が失われ、子どもたちが大好きな先生達とも会えなくなってしまいます。

それに今回のさいわい保育園の民営化は、新しい園舎の立て直しと同時に行われます。新しい園舎で新しい先生達では、先生も子どもたちも慣れておらず、何か起きてしまうのではないかと不安があります。

このため、さいわい保育園の父母会の準備会では、区立さいわい保育園存続のための署名活動を計画しています。皆様のご協力をお願い致します。

(さいわい保育園保護者)

お獅子に頭をかまれたよ！ 新年おたのしみ会

1月18日(日)グリーンホールで恒例のふぼれん新年お楽しみ会が開かれ、参加者の親子は獅子舞を楽しんだり、手作りおもちゃを作って交流しました。ふぼれんでは今後も楽しい集いを計画中です。どなたでもご参加ください。以下参加者の感想です。

子どもも親もとても楽しい時間を過ごさせてもらいました。帰宅後は、太鼓(ガムテープの芯紙とゴム風船でできるとは!)とストロー笛が鳴り響き、いつにもましてにぎやかなわが家でした。



太鼓をお披露目

こわごわお獅子に触ってみましたよ!



入園希望者急増中

不況の中、認可保育園への入所希望者が急増中です。板橋区では、前年度比453人増の2782人から申し込みがありましたが、1000人近くの子もたちが4月からの“待機”を余儀なくされています。

ふぼれんでは、今後、認可保育園の増設等を求め、区への要望や署名活動などに取組みます。みなさんのご協力をよろしく願います。

区立栄町保育園、存続決定！

署名提出 累計 14,563筆！～

多くの皆様のおかげで、区立栄町保育園の存続が決まりました。

昨年9月「園舎が老朽化しているが、区に図面が存在せず、耐震診断が出来ないため、今年度末（2009/3/31）をもって閉園します」との通知が保護者宛て配布されました。説明会では、これに納得できない保護者の追及により、区が、園舎の老朽化を10年以上前から認識していながら放置してきた怠慢が明らかになり、「耐震診断を実施し、結果が出るまで閉園については凍結」の約束をさせま

した。しかし区はあくまでも、「保育園は閉園、在園児は転園」の方針を変えませんでした。

子ども達にとってかけがえのない友達とバラバラにならないよう父母会では「園の存続」と「平成21年度新規募集継続」を求め、昨年11月より署名活動を開始。地域の皆さんをはじめ、多くの方にご賛同をいただき、昨年12月に第1回提出、3月11日に追加分を提出、累計14,563筆要請署名提出となりました。

区は、当初の方針を転換。平成

21年度の新規募集は再開されませんが、『区立栄町保育園は存続、現在地を含め同地域で新園舎建設の方向で検討調整隣接する都有地を5年間借り受け、仮園舎を建設 仮園舎は0歳児を含めた現定員（43名）と同規模』の回答が出されました。皆さまのご支援感謝いたします。

新園舎の施設規模・設置主体については未定のため、何よりも子ども達を第一に考え、注意深く見守っていきたいと思います。

(栄町保育園父母会代表・小澤真弓)

加賀保育園裁判 控訴審敗訴

加賀保育園裁判の控訴審判決が3月4日、東京高等裁判所で言い渡されました。

結果は控訴人（住民側）の完全敗訴でした。一審とほぼ同じく、民営化は行政の裁量の範囲内であり、違法とは言えないとし、請求を棄却しました。

しかし、裁判の中で多くのことが明らかになりました。

元保育課長の証人尋問では、区が区民の財産である不動産をきちんと査定もせず、また議会に報告すらせずに譲渡・貸与しようとしていたこと、区には400億円もの貯金がありながら財政難を理由に民営化を進めていたこと等です。

元保護者の方の証言は、公立保育園が民営化されることにより、子どもたちやその親がどのようなつらい思いを抱くのか、強行に推し進められた民営化による弊害が浮き彫りになりました。

今回の判決は、子どもや保護者の保育を受ける権利、民営化の是非等に裁判所はまったく触れていません。

民営化による影響を真っ先に受けるのは子どもたちです。板橋区のよりよい保育をめざすため、この裁判の結果も踏まえ、議論を深めていけたらと思います。

みんなであそぼ！



進級・入園おめでとございます😊
新年度が始まりましたね。各園の新旧役員さんの新体制に応じた連絡先を、ふほれんにもお知らせください